



知って・伝えて・つながることができる

## だれでもカルタ ～消費生活・環境編～

### 教師用指導書

《研究室 HP》



<https://aikalab.sakura.ne.jp>



《研究室 Instagram》



鹿児島大学教育学部石橋愛架研究室



# だれでもカルタ～消費生活・環境編～

## 1 カルタの目的

小学校家庭科「C 消費生活・環境」の内容を楽しく学習することです。商品やサービスを購入・使用・廃棄する際に、自分・環境・社会にとってよい選択とは何かを考え実践できる、自立した消費者の育成を目指します。

## 2 対象学年

小学5年生、6年生

## 3 本教材の内容

カルタの札は、「小学校学習指導要領 家庭編」の「C 消費生活・環境」（次ページ参照）に基づき4つの目的で作成されており、全部で24枚です。

指導要領	枚数	カルタ番号
①買い物の仕組みや消費者の役割を理解するためのカルタ	4枚	1、2、3、4
②物や金銭の大切さと計画的な使い方を理解するためのカルタ	9枚	5、6、7、8、9、10、11、12、13
③情報を活用してよりよい買い物をするためのカルタ	5枚	14、15、16、17、18
④環境に配慮した生活を実践するためのカルタ	6枚	19、20、21、22、23、24

### C 消費生活・環境

次の(1)及び(2)の項目について、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

#### (1) 物や金銭の使い方と買物

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。

(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。

イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。

#### (2) 環境に配慮した生活

ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。

イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。

## 4 本教材といっしょに使用する教科書

本教材は、下記の教科書を見ながら使用することを想定して作成されています。2020年度版 開隆堂 小学校家庭教科書「わたしたちの家庭科5・6」



## 5 本教材のポイント

- ・「消費生活・環境」について、ゲーム感覚で楽しく学べます。
- ・取札のうらには「解説」の記載や「クイズ」「話し合い」「ふり返し」などの活動を促すセリフが書いてあるので、カルタを取った誰もがそれらを読んでグループで活動をすれば、「消費生活・環境」について知って・伝えて・つながることができるようになっています。
- ・教材名は、上述の理由から「だれでもカルタ®」です。
- ・内容をよく聞いてもらうために、読札の頭文字のうち、「お」「な」は2枚ずつあり、背景が黄色になっています。
- ・本教材は、小学4年生までに習う漢字を使用しており、それ以外の漢字にはふりがなをつけています。

※「だれでもカルタ」は、国立大学法人鹿児島大学の登録商標です。

## 6 おすすめの使い方

### 【小学5年生、6年生】

- ・家庭科の授業の導入
- ・家庭科の授業のまとめ

### 【学年を問わず小学生】

- ・休み時間の遊び
- ・学級活動（新クラス、お楽しみ会、新年会など）
- ・大きく印刷し体育館で実施
- ・学級でお金や物の使い方などの問題が起きているときの指導
- ・お金を使う機会の増える長期休みの前の指導
- ・おみやげを買う修学旅行やお菓子を買う遠足の前の指導

### 【小学生と保護者】

- ・授業参観や学校公開で保護者を巻き込んで
- ・PTAなど親子ふれあい活動
- ・家庭への貸し出し用

※目的や状況に応じて、グループ毎に児童が読み手をするか先生が読み手をするかを決めてください。

## 7 「だれでもカルタ」の印刷方法

- ・本指導書表紙に記載の鹿児島大学石橋愛架研究室の HP から、無料で印刷できます。
  - ・目的や状況に応じて、下記のような方法で印刷してください。
- 厚紙に印刷し裁断機でカットする。
  - コピー用紙に印刷しカッターでカットする。
  - コピー用紙に印刷しカットしたものを画用紙に貼る。
  - 大きな紙に印刷しカットしない。
- ※エーワンの「マルチカード 各種プリンタ兼用紙」（マット紙 A4 判 8 面 吊り下げ名札ヨコ特大用 品番 51215）を購入すると、ミシン目により簡単にカットすることができます。

読札おもて	取札おもて	取札うら
		

## 8 「だれでもカルタ」の情報発信

本教材を気に入っていただけた場合は、媒体を問わずぜひ情報発信していただけると幸いです。インターネットでの発信の際は、「#だれでもカルタ」を付けてください。

## 9 「だれでもカルタ」のルール

- ・カルタを行う前に筆記用具と家庭科の教科書を手元に用意しましょう。
- ・頭文字のうち、「お」「な」は2枚ずつあるので、取札をよく見て取りましょう。
- ・読み手は、1枚ずつ時計回りに交代しましょう。
- ・内容をよく聞いて取ってほしいので、読札が読まれている間は目をつぶり、手は頭の上に置きましょう。読み手が「どうぞ」と言ったら目を開けて札を取りましょう。
- ・お手つきは、1回休みです。
- ・取札を取るときは、大きな声で「はい！」と言いましょう。
- ・取札を数人で同時に取ってしまったときは、じゃんけんで取札をもらう人を決めましょう。
- ・取札を取った人は、うらに書いてあることをグループの人が聞き取りやすいように読んで、スムーズに活動できるようにしましょう。
- ・1番たくさん取札を取った人の勝ちですが、活発に意見を出したり、友だちの意見の良いところを見つけたり、協力して話し合いをするなど、活動態度の面でも1番を目指しましょう。
- ・カルタで学んだことをお家の人にも教えてあげましょう。

※クラスの実態に応じて、上記のルールを変更したり独自のルールを作ったりするのもおすすめです。

